

令和6年度 新理事選出選挙立候補者名簿

(五十音順)

| | 氏名 | 所属 | 抱負 |
|---|-------|-------------------------------|---|
| 1 | 秋山久尚 | 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科学 | 私は本学会の代議員、用語委員副委員長を務め、頭痛の教育・診療・研究に取り組みながら地域の頭痛診療普及に尽力して参りました。また、コロナ後遺症頭痛の診療、頭痛遠隔医療を積極的に行い、研究責任者として頭痛臨床治験に参加し頭痛医療の促進に奮励いたしました。今後とも本学会の更なる発展に注力し、わが国におけるcommon diseaseとしての頭痛診療の確立に向け、より一層貢献できるよう努力する所存です。 |
| 2 | 井関 雅子 | 順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座 | 私は、本学会において頭痛診療に貢献するとともに、日常臨床では多種の疼痛疾患の治療に携わり、様々な疼痛領域の学会活動を施行してきました。その経験を生かして、本学会においても頭痛専門医を目指す若手医師の育成や、幅広い頭痛診療の普及に貢献したいと考えます。また慢性一次性頭痛に関して診療科や職種を超えて多職種チーム医療を推進すること、さらに他の疼痛関連学会との橋渡し役として本学会の発展に尽力する所存です。 |
| 3 | 伊藤 康男 | 埼玉医科大学 脳神経内科 | 私は大学病院の頭痛外来で頭痛診療に従事し、頭痛教室や講演会を通じて埼玉県の頭痛患者やかかりつけ医の先生方と地域頭痛診療ネットワーク構築のため尽力してきました。また、「薬物使用過多による頭痛に対する抗CGRP製剤の有効性」を検討し、本邦における難治性頭痛の臨床研究にも取り組んできました。今後も引き続き、JPACなどの学会活動を通じて頭痛に苦しむ患者さんへの啓発活動に努めていきたいと思ひます。 |
| 4 | 工藤 雅子 | 岩手医科大学内科学講座脳神経内科・老年科分野 | 私は岩手の大学病院に勤務し東北地方における頭痛診療の充実に努めてまいりました。頭痛学会では、教育関連委員会、専門医委員会、診療向上委員会、HMSJ組織委員会などに所属し、また国際頭痛分類・ガイドラインの作成にも携わらせていただきました。今後も微力ながらより多くの患者さんに適切な医療を届けることを目的とした頭痛診療の均霑化、専門医および学会活動における女性医の育成などに取り組んでいきたいと思ひます。 |
| 5 | 柴田 靖 | 筑波大学水戸地域医療教育センター/水戸協同病院 脳神経外科 | 脳神経外科医、大学教員として頭痛診療、教育、研究に取り組んでいます。日経メディカルの頭痛外来研修道場や著書;この1冊で極める頭痛の診断学を出版し、全国の講演会などで頭痛診療の啓発に努めてきました。新薬の治験も積極的に取り組んでいます。片頭痛や外傷性頭痛などのMR画像診断の科研費を取得し、論文発表し、国際英文雑誌Editorも務めています。日本頭痛学会では専門医委員会委員を務めています。今後も日本にふさわしく、世界に向けての臨床、教育、研究を進めていきたいと思ひます。 |
| 6 | 高橋 牧郎 | 関西医科大学 神経難病医学講座 (脳神経内科) | 代議員として頭痛の教育、啓発活動に尽力し、国際頭痛学会 Headache MasterとしてHMSJや頭痛学会での教育講演、シンポジウム、論文、著作発表に加え、各種委員会(診療向上委員会副委員長、広報委員会、教育関連委員会、ガイドライン作成委員会)にて学会活動に尽力し、地域の頭痛教育も行ってきました。今後の日本における頭痛研究の発展と頭痛診療・教育の質的向上のため全力を尽くす所存です。ご支援よろしくお願ひします。 |

| | | | |
|---|-------|----------------------------|---|
| 7 | 辰元宗人 | 獨協医科大学病院 頭痛センター・医療安全推進センター | <p>外来時、照明の光がまぶしくてつらいという訴えを聞いたことがきっかけとなり、片頭痛と光の研究をはじめました。現在、専門医委員会の委員長として専門医試験の運営および頭痛専門医試験問題・解説第2版の出版準備に携わっています。専門医委員会の副委員長、小委員会委員長、委員の先生方の多大なる協力に感謝申し上げます。理事にさせていただければ、頭痛専門医の育成に尽力し、学会に貢献できるよう努めたいです。</p> |
| 8 | 松森 保彦 | 仙台頭痛脳神経クリニック | <p>脳神経外科医として頭痛の診療と研究、教育に取り組んでまいりました。頭痛医療の底上げを図るため、プライマリケア医や一般市民に対する啓発活動も定期的を実施し、2019年にはHMSJを仙台市で開催いたしました。現在、本学会の幹事や各種委員を務め、微力ながら学会活動にも尽力しております。新たな治療法が次々と登場し変革期を迎えている今、わが国の頭痛医療をさらに発展させるべく立候補する決意をいたしました。</p> |